

解剖学の研究

体とは不思議なものである。どのように動くか、どのように反応するか……そして研究対象の種族の多さよ！ ああ、自由に解剖できたなら、どれほどのものか。確かに遺体は大学にもある。しかし、それらの生命の煌めきのなさよ。やはり研究に最善の道は、最前線に立ち、自分の手で試してみることだ。

パーティで15回、自分以外の仲間の脱落を経験すること（自分が脱落しているときに脱落した仲間も数える）。

の箱を開封する。

復讐するは我にあり

目を閉じれば、幼き頃にふたり楽しく遊んだ記憶が蘇る。目を開けると、親友の遺体が視界をおおった。衛兵は事故だと語ったが、そうではないことを知っている。罪ある者を見つけ出し、復讐を遂げねばならぬ。時に血は、さらなる流血を呼ぶのだから。

グルームヘイヴン市街のシナリオを4つ完遂する。それによつて57番シナリオ『捜査本部』が解放されるので、そこから一連のシナリオを完遂させること。
Xの封書を開封する。

人の没落

証拠はそこらじゅうにあった。探しかたさえ知っていれば、目の前に証拠は存在していた。街は大昔の瓦礫の上に建てられている。それを建てた者たちも、すでにいない。どうして消えてしまったのか、その謎の手がかりを探さなければならない。

去らずの沼のシナリオを2つ完遂する。それによって61番シナリオ『点滅灯台』が解放されるので、そこから一連のシナリオを完遂させること。

●の箱を開封する。